

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【公表番号】特表 2019-513096 (P2019-513096A)

【公表日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報 2019-019

【出願番号】特願 2018-548404 (P2018-548404)

【国際特許分類】

B 3 2 B 5/18 (2006.01)

B 3 2 B 7/12 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

C 0 9 J 7/25 (2018.01)

C 0 9 J 7/38 (2018.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 133/08 (2006.01)

C 0 9 J 7/40 (2018.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

C 0 9 J 133/10 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 5/18

B 3 2 B 7/12

B 3 2 B 27/40

C 0 9 J 7/25

C 0 9 J 7/38

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 133/08

C 0 9 J 7/40

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 133/10

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 6 日 (2020.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の層を、次の順序で備える表面保護フィルムであって、
前記表面保護フィルムの主面に露出した第 1 のポリマーフィルムと、
発泡接着剤と、
第 2 のポリマーフィルムと、
感圧性接着剤と、
を備える表面保護フィルム。

【請求項 2】

前記第 1 及び第 2 のポリマーフィルムのそれぞれがポリウレタンエラストマーを含む、
請求項 1 に記載の表面保護フィルム。

【請求項 3】

前記ポリウレタンエラストマーが熱可塑性ポリウレタンエラストマーを含む、請求項 2 に記載の表面保護フィルム。

【請求項 4】

前記発泡接着剤がシタクチックフォームを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の表面保護フィルム。

【請求項 5】

前記シタクチックフォームが、非三級アルキルアルコールのアクリル酸エステル又はメタクリル酸エステルの 1 又はそれ以上の反応生成物を含み、前記非三級アルキルアルコールが 1 ~ 20 個の炭素原子を有する、請求項 4 に記載の表面保護フィルム。

【請求項 6】

前記発泡接着剤が、前記発泡接着剤中に均一に分布した熱可塑性発泡性ポリマー微小球を更に含んでおり、該熱可塑性発泡性ポリマー微小球は、未膨張発泡性ポリマー微小球、少なくとも部分的に膨張した発泡性ポリマー微小球、又はその両方を含む、請求項 5 に記載の表面保護フィルム。

【請求項 7】

複数の層を通して延在するミシン目の配列を更に含み、前記ミシン目が、前記表面保護フィルムの両側面間に流体連通を提供する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の表面保護フィルム。

【請求項 8】

前記ミシン目が 100 マイクロメートル ~ 3200 マイクロメートルの平均直径と 1 平方メートル当たり 6000 ~ 100000 の面密度とを有する、請求項 7 に記載の表面保護フィルム。

【請求項 9】

接着されていた基材から前記表面保護フィルムを、前記感圧性接着剤を前記基材上に実質上残すことなく剥離することができる、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の表面保護フィルム。

【請求項 10】

車両用基材保護方法であって、

保護が必要な時に、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の表面保護フィルムを前記車両用基材の外側面に適用する工程と、

保護が不要な時に、前記表面保護フィルムを前記外側面から、前記外側面の接線面に対して 35 度以上の角度で剥離する工程によって、前記車両用機材から前記表面保護フィルムを脱離する工程と、を備える方法。